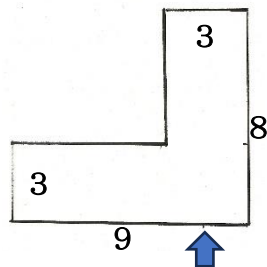
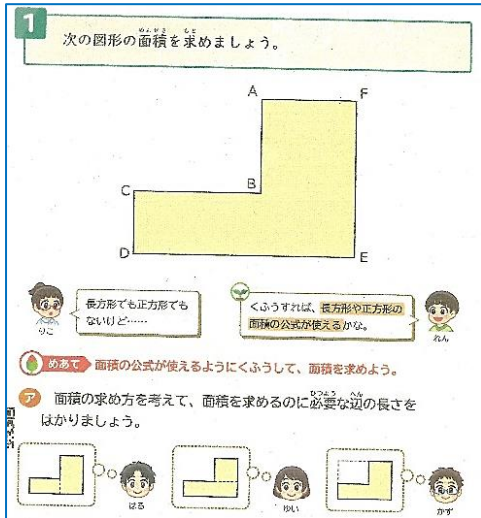


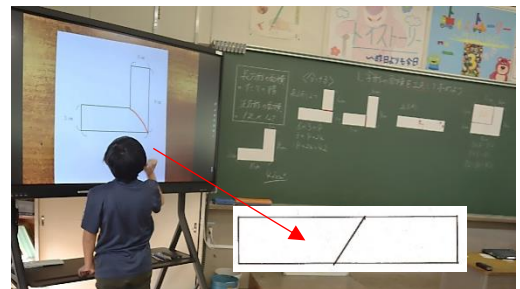


指導員訪問⑥ 算数科 4年「面積」 永田 寛人 教諭



自分の考えで満足することなく、友達と意見交換をして考えを深めようとするので算数に取り組む永田学級。しかし、多様な考えを一般化したり、解き方を使い分けたりすることに弱さを感じる子供たち。そこで、教科書の複合図形「L字型」を工夫して出題することで、多様な考えから自分なりに問題によって使い分けられる力を伸ばしたいと考え、本単元を設定しました。本時では、L字型の面積を長方形の面積の求積公式を使って工夫して求めたり、複合図形の問題を作成したりする姿があったかどうかです。

まず初めに、L字型の面積の求め方を図形に線を引いてできるだけ多く考え、その後、全体で方法を確認。①分けてたす(多数)、②全体から引く(3名)を発表。さらに、C1の考えを紹介しました。そして、C4を取り上げ、③分けてくっつける(移動)へとT6●で立ち止まりました。一度チームに戻し、切る、移動させるなど試しました。そ



<授業記録より一部抜粋、編集>

- C1 : $3 \times 8 = 24$, $3 \times 9 = 27$
 $24 + 27 = 51$ $3 \times 3 = 9$
 $51 - 9 = 42$
- C2 : あ〜、すごい! (多数)
- T3 : これは思いつかなかった。さすが。C4さんが、面白い線の引き方をしていました。見てもらっていいかな。
- C4 : (電子黒板に提示)
- C5 : お?え?半分? (多数)
- T6● : これ、ひと工夫で...
- <略>-
- T13 : 前、移動させるやつあったでしょ。
- C14 : あ〜 (多数)
- T15 : じゃあ、言うよ。
- C16 : あ〜、半分半分! (多数)
- C17 : 多分だけど...
- T18 : だれも移動しなかったね。考えなかった?思いついた?
- C19 : 斜め、書いてないけど...
- C20 : そうそう、同じ! (多数)
- T21 : これできる?チームで話してみて。
- C22 : 切っていいですか?

して、複合図形が①②③から共通して長方形によって解決できることを確認、最後に、ジャンプアップ課題として問題作りへ。中には階段型や三角形を作成する子も。

協議会では、ジャンプアップで方眼の使用や取り上げるべき問題、など話題に。指導員から、電子+板書の効果的な活用、繰り返し子供の説明、キーワードを板書、ジャンプアップ課題のねらいの大切さ、さらに見方・考え方を働かせる意味まで教えていただきました。

私も指導員と同様にC22に着目。まさに主体的に動き出す姿です。「どうして『切って』と思ったの?」と聞きたくなりました。私なら、「③分けてくっつけるっていつでもできるの?」「簡単でいいね!」と揺さぶりますが、みなさんならいかがでしょうか。数値、形にさらにこだわるでしょうね。

